

《 財務諸表に対する注記 》 附属明細書

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

直接法による定額法で減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、退職金共済掛金を充てる。

(3) 消費税等の会計処理

消費税込額で表示している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
合 計	5,000,000	0	0	5,000,000

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	329,700	323,147	6,553
合 計	329,700	323,147	6,553

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の交付者	前期末残高	当期交付額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
全国法人会総連合助成金	0	4,223,600	4,223,600	0	指定正味財産
秋田県法人会連合会補助金	0	888,750	888,750	0	
中小企業基盤機構助成金	0	116,556	116,556	0	
合 計	0	5,228,906	5,228,906	0	

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

振替内容	金 額
経常収益への振替額	
事業費計上による振替額	4,223,600
合 計	4,223,600